

キラリ 熱中時間

深谷市にゆかりがあり、市内外で活躍する個人や団体を紹介します。

第65回日本学生科学賞で入選1等を受賞！



明戸中学校3年
根岸 絢音さん

植物の不思議を追求！

中学校2年生だった昨年の初夏、大河ドラマ『青天を衝け』で渋沢栄一が藍の仕事をしているシーンを見て、『藍の葉はどうしてこんなに青く染まるのだろうか？』と疑問を持ったのは、探求心旺盛な根岸絢音さんです。『自分でも染めてみたい！』と、藍の種をまき、育て、その葉を使って『藍の生葉染めに関する研究』を夏休みの自由研究のテーマに決めました。

「まずは絹から染め始めて、綿や毛糸を染めました。絹が一番きれいな青が出て感動しました。」こうして始まった根岸さんの研究は、さらに染まりやすい方法を探すべく、数々の実験が繰り返されました。牛乳や卵、豚肉など思いつく限りの材料をかけ合



▲実験で染めた布や作成した資料を前にして、受賞の盾を持つ根岸さん

せて藍染めの液を作り、布の染まり具合を確かめる実験を繰り返した結果、動物性たんぱく質の多い食材を使うと染まりやすくなることを発見。この研究の成果が専門家に評価され、全国の中高生が参加する科学コンクールで入選1等に選ばれました。

研究で大変だったことを聞くと、「天候に左右される藍の育ち具合が気掛かりでした。また、部活動の練習なども忙しいので、実験の時間を確保するのが一番大変でした。」と話してくれた根岸さん。そんな苦労があっても、植物への興味は尽きません。将来のことについても、「植物の研究を続けて、その面白さを伝えられる職業に就けたらいいなと思います。」と笑顔で語ってくれました。

『農業』で

深谷を元気に！

深谷市では、『儲かる農業都市かや』の実現を目指し、『農業』を核とした産業のブランディングを進めています。問い合わせ/産業ブランド推進室 ☎577 - 3819
産業ブランド推進室 検索

『地域通貨ネギー』を使って市内でお得に買い物をしませんか？

深谷市では、約720店舗以上で利用できる市内専用の地域通貨『ネギー』を発行しています。

■ネギーのタイプは2種類

【アプリタイプ】無料のスマートフォンアプリを使って決済♪

チャージ（入金）方法：クレジットカード、現金、セブン銀行ATM

【カードタイプ】スマートフォンなどが不要！

チャージ（入金）方法：現金

どちらのタイプも、利用額の1%が即時ポイントバックされるので、お得に買い物することができます（他のキャッシュレス決済のポイントバックは0.5%程度が一般的です）。



▲アプリタイプ



▲カードタイプ

NEWS！市の事業に参加してポイントを獲得しよう

固収税課 ☎574-6639

市税などの納付方法で口座振替を新規に申し込みしたかたに、もれなく500ネギーを進呈する『口座振替キャンペーン』を実施中です（8月31日(水)まで）。詳しくは、市ホームページ（右記QRコード）をご覧ください。



▶詳しくは、市ホームページ『ネギー購入方法』をご確認ください。



ふっかちゃんの日常から深谷が見えてくる

ふっか 散歩

100 岡部六弥太忠澄の墓

みんな岡部六弥太忠澄さんって知ってるかな？ 30ページの『重忠を知る』のコーナーで、深谷出身の武士として紹介されるから、ちょっと気になって、忠澄さんのお墓を訪ねてみたよ！



▲写真の真ん中にあるのが、忠澄さんのお墓だよ。向かって右側がお父さんのお墓。左側は、妻「玉の井」さんのお墓で、玉の井さんは、畠山重忠公の妹と伝えられているんだってえー。

◀説明によると、忠澄さんは、武勇に優れていただけでなく、情に深い人で、自分が討ち取った平忠度の供養塔を、自分の領地の中で一番景色がいいところにててあげただって。

ふむふむ。深谷にもいろいろな歴史があるんだねえ。

ふっかちゃんのつぶやき

たまには気分転換で市内のいろいろな場所を散歩してみるのもいいよねえ♪新しい発見があるかもよY(o0w0o)Y



心の広場

藤沢中学校2年(現3年) 高橋 ららさん



自分だけの色を

あなたは『性』と聞いて、何が思い浮かぶだろうか。私は、今まで男性と女性のことだと認識していた。しかし、性にも様々な色や形がある、ということに気づいた。

道徳の時間に、『属性』についての学習をした。『自分はこんな人』という要素のことを属性といい、一人一人違う属性があるなど、いろいろなことがわかった。中でも私の心に響いたのは、『LGBTQ』という言葉。これは性的少数者を意味するもので女性が女性を好きになるレズビアン・男性が男性を好きになるゲイ・男女どちらも好きになるバイセクシュアル・心の性と体の性が一致しないトランスジェンダー・自分の性を自分で認識できないクエスチョニングという5つの言葉の頭文字をとってできている。この言葉を習って授業は終了したが、私の中にはたくさんの『?』が残っていた。家に帰り調べてみると、性について他にも様々なことを学べた。まず、日本の人口の約10パーセントは、『性的少数者』に当てはまるということ。私

が思っている以上に、性の問題は身近なものなのかも知れない。

調べていると、目を疑うような記事を見つけた。それは、日本では同性同士での結婚が認められていないというものだ。『えっ』と思わず声が出てしまった。『男女』だけが愛の形ではないから、認められていないということに少し疑問を抱いた。さらに深く調べていくと、同性同士の結婚を認めるには様々な課題があることがわかった。LGBTQ当事者の気持ちを考えると、一刻も早く認められるべきだと思う。私がもしそうならば、『なぜ』『どうして』で頭がいっぱいになってしまい、マイナスな思考になる。性について苦しく辛い思いをしている人の心に、光が差し込むようなニュースが少しでも早く流れればいいなと思った。

私は今回の調べ学習で、『性と色は似ている』ということに気づいた。絵の具は、配合次第でたくさん色を作ることができる。人によって受けとり方は違えど、どんな色も輝かせることができる。性も一人一人にそれぞれの色があり、どんな色でも輝かせられると思う。だからこそ、性を利用し人の色を汚すような差別は絶対に行ってはいけない。人の数だけ色があり、色の数だけその輝きがある、と私は思っている。自分だけの色を思いきり輝かせる世界になりますように。